

第 49 回県下少年柔道大会

実 施 要 項

- 1 主 催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 期 日 令和 4 年 11 月 26 日 (土)
 - ※ 受付 8 時 3 0 分～
 - ※ 審判・監督会議 受付終了後～
 - ※ 開会式 審判・監督会議終了後～
- 3 会 場 西原商会 (鹿児島) アリーナ サブアリーナ
- 4 参加資格
 - (1) 選手は出場の意思が明確であり、保護者の承諾を得ていること。
 - (2) 選手は、小学 4 年生以上で、健康かつ柔道の経験が 1 年以上であること。
 - (3) 選手は、令和 4 年度全日本柔道連盟に競技者登録を、引率する監督は、個人登録及び公認指導者登録をしていること。(大会当日に監督が不在の場合には、選手は試合に出られない。)
 - (4) 選手は、「スポーツ安全保険」等に加入していること。
- 5 チーム編成
 - (1) チームは、原則として少年団単位とし、1 チームで編成できる。監督 1 名、選手 5 名、補欠 2 名とする。
 - (2) チームの選手の配列は、①低学年から高学年の順とする。②同学年内は体重の軽い者から順に配列する。
 - ※計量は任意申告とするため、計量時間は設けない。明らかに申告と違うと判断した場合には、計量を行う。
 - (3) 先鋒および次鋒は、4・5 年生とし、中堅・副将および大将は、5・6 年生とする。
 - (4) 選手の配列は、試合ごとに変更できない。選手と補欠の入れ替えは認めるが、(2)に基づいて配列すること。
 - (5) 選手 4 名以下の場合、後詰めとする。ただし、4 年生は次鋒までとする。
 - (6) 一度退いた者は、出場できない。
- 6 試合方法
 - (1) 試合はトーナメント方式とする。勝ちチームの決定は、次の順による。
 - ア 勝ち点による。
 - イ 勝ち点が同等のときは、内容による。
 - ウ 内容も同等のときは、代表戦で勝敗を決する。代表戦については、引き分けの試合の中から抽選で 1 試合を選び、通常の 3 分間の試合を行う。得点差が無く、かつ「指導」差が 1 以内の場合には旗判定で勝敗を決する。(GS は行わない。)
 - エ 本規則に定められていない事態が生じた場合は、対戦者の中から抽選で 1 試合を選びウの代表選を行う。
 - (2) 第 3 位決定戦は、行わない。
- 7 競技規則
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定による。
 - (2) 試合時間は、3 分間とする。
 - (3) 勝敗の決定基準
 - 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「指導の差 2」とし、得点差が無い場合は「引き分け」とする。
 - 「逆背負投」「両袖を持って施す投げ技」は禁止とし、かけた場合は「反則負け」とする。(以降の一連の試合には出場できることとする。)
- 8 組み合わせ 主催者で決定する。
- 9 表 彰 第 1 位から第 3 位までを表彰する。

- 10 参加申込み
令和4年10月14日（金）必着で、郵送及びメールの両方で必ず申し込みすること。

〒892-0853 鹿児島市城山町2-2-1 公益財団法人鹿児島県柔道会

柔道大会申込みメールアドレス entry@k-judokai.sakura.ne.jp

- 11 参加料 1チーム5,000円（大会当日、受付で納入する）

12 その他

(1) 脳震盪対応について

ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。

イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

- (2) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。

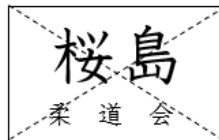
- (3) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。

- (4) 選手は、所定のゼッケンをしっかり縫いつけること。

①布地は白色（晒太綾）で、サイズは、横 30cm～35cm、縦 25cm～30cm。

②上部 2/3 に苗字、下部 1/3 に所属を表記する。書体は楷書で、ゴシック体または明朝体を用いること。

③男子は黒字、女子は赤字とする。④縫い付けの場所は後襟から 5～10 cm 下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けること



- (5) 選手が大会で着用する柔道衣については、規格にあった柔道衣を着用すること。

- (6) 監督は、令和4年度全日本柔道連盟の登録書（ID）を大会当日持参し、受付で提示すること。

- (7) 監督の服装は、審判員に準ずる。

- (8) 出場チームの監督で審判ライセンス保持者については審判員を依頼し、円滑な大会運営が行えるよう協力を求める。については申し込み書に、保有する審判ライセンスを記入すること。

- (9) 大会当日は、駐車場の混雑が予想されるので乗り合わせ、または公共交通機関で来場すること。近隣近辺の無断駐車等は絶対に行わないこと。

- (10) 履物は個人管理とするので、ビニール袋等は各自で準備すること。

- (11) 入場制限はないが、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては入場制限を行うことがある。

- (12) 選手、監督、参加を依頼した役員については各自別紙の健康記録兼同意書を記載し、受付に提出すること。1階入場は、選手、監督、参加を依頼した役員とする。大会当日は、検温、消毒、マスク着用、三密を避けるなど感染予防措置を徹底する。また、試合中の選手以外は、常にマスクを着用すること。

それ以外の者については、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、受付で検温、手指消毒、マスクを着用し、入場名簿を記載して2階ランニングコースから試合を見ることが出来る。

また、大会後2週間以内に新型コロナウイルスに感染したり、濃厚接触者となった者については、県柔道会へ速やかに連絡をすること。

※新型コロナウイルス感染拡大によっては

拡大防止を避けるために、変更になることもありえます。